

暑中お見舞い申し上げます

連日暑い日が続いておりますが、皆様方におかれましてはお元気でお過ごしのことと存じます。

ご承知の通り、3月11日に発生いたしました東日本大震災によってこの国は未曾有の危機に直面することとなりました。私も震災の現状を知るべく、まずは現地に足を運ばなければならないという思いの中、親しい同僚の議員と取り急ぎ東日本大震災被災地支援議員連盟を直ちに18日に立ち上げ20日には福島県の被災地に向かいました。

港に近いところで津波の酷さをこの目で見、また被災者が避難している小学校等を訪問いたしました。(詳細については「興友 2011 臨時号」に掲載)

その後、議連の仲間と一緒に復旧・復興に向けて精力的に宮城県、あるいは岩手県にも足を伸ばして現地のお声を聞きした後、議員会館で度々議連の会合を開催し、ガレキ撤去の問題、あるいは仮設住宅の問題や、新エネルギー(太陽光、風力等)問題、そしてこれからの新しい街づくり等々の諸問題について議連としてどう対処すべきか、その方策を議論してまいりました。

また、それぞれ議員の地元商店街のご協力をいただき、風評被害に苦しむ福島県の農家の方々の野菜や果物の応援セールもいたしました。(裏面参照)

また、私の友人である山口県の県会議員から現在の仮設住宅の半値で、しかもトレーラーで持ち運びが可能であり、使用後は折りたたんで再使用することができる簡易な仮設住宅を役立ててほしいとの依頼を受けて、直ちに東京都知事をお願いをして関係者の為の展示会を都庁で開催いたしました。(裏面参照)

このように次から次へと被災地支援の為に持ち込まれる要望等に迅速に対応することで、被災地支援議連が具体的な成果を挙げるよう頑張っていきたいと思っております。

私は今の時代を生きる政治家として東日本の復旧・復興に全力を注ぐと同時に、これを契機としてこれからの新しい日本を創っていかねばなりません。今日を予測したかのように私の名前(興起)を付けてくれた今は亡き父のためにも、まさにこれからの東日本の復興、そして日本の再起に向けて頑張ることが私の使命だと考えております。

そのためにも皆様方に今後一層のご支援・ご指導をお願い申し上げます。

併せて、暑さ厳しき折、皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。



本音で語る。
本気で改革

興友

発行
小林興起後援会

題字
堺屋 太一

2011年
夏号

東日本大震災で被災された皆様方に
心よりお見舞いを申し上げます。

衆議院議員 小林 興起

がんばろう 東北！ がんばろう 日本！！

東日本大震災と福島原発事故におきまして、甚大な被害にあわれました福島県の農家の皆様を支援するため、5月15日、福島県伊達郡国見町の農家を訪れました。

国見町の町長と面会するとともに、町内の農家の方々を訪れ実情をお聞きしました。風評被害に苦しんでおられる農家の方々に、私の地元・豊島区や練馬区での直売会に向けて協力することを約束して参りました。

(国見町長・農家の皆様と)



(農家の方を激励)



「福島県風評被害支援プロジェクト」として、福島県産の野菜や名産品の直売会が、とげぬき地蔵高岩寺で5月28日に、すがもん広場で7月9日・10日に行なわれました。

(巣鴨街づくり協議会 平子会長と)



(巣鴨地蔵通り商店街木崎理事長・国見町長と)



7月15日、山口県の岡村精二県議の陳情で、石原慎太郎都知事をお願いをし、都庁で『災害用早期設置型組み立て式復興支援ハウス』の展示会が開催されました。山口県出身の、安倍晋三元総理も駆けつけました。

(安倍晋三元総理、岡村精二山口県議、石原慎太郎都知事と)

